

岩手県金融経済概況（2022年3月）

1. 概況

県内経済は、持ち直しの動きが一服している。

最終需要の動きをみると、公共投資は、減少している。設備投資は、増加している。個人消費は、弱含んでいる。住宅投資は、持ち直しのペースが鈍化している。この間、生産は、持ち直しの動きに足踏みがみられる。雇用・所得環境は、改善の動きがみられる。消費者物価（除く生鮮食品）は、前年を上回っている。

2. 最終需要

公共投資は、減少している。

公共工事請負金額（2022年3月）は、引き続き前年を下回った（前年比△42.5%）。

設備投資は、増加している。

2022年3月短観（岩手県）における2022年度の設備投資は、前年度を大幅に上回る計画となっている（前年度比2.3倍）。内訳をみると、製造業では、電子部品・デバイスや輸送機械における能力増強投資を主因に前年度比3倍強の計画（同3.3倍）。一方、非製造業では、収益環境を踏まえて慎重な計画となっている（同△3.1%）。

個人消費は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響などから、弱含んでいる。

百貨店売上高（全店舗ベース：2022年2月）は、2ヵ月振りに前年を下回った（前年比△9.4%）。スーパー売上高（全店舗ベース：2022年2月）は、8ヵ月振りに前年を下回った（同△0.3%）。また、新車登録・届出台数（乗用車＜含む軽＞：2022年3月）も、引き続き前年を下回った（同△22.4%）。

この間、サービス消費は、飲食・宿泊を中心に弱い動きが続いている。

住宅投資は、持ち直しのペースが鈍化している。

新設住宅着工戸数（2022年2月）は、2ヵ月振りに前年を下回った（前年比△24.2%）。内訳をみると、持家（同△16.6%）、貸家（同△47.1%）、分譲（同△

6.8%)とも前年を下回った。

3. 生産動向

生産は、供給制約の影響から、持ち直しの動きに足踏みがみられる。

鉱工業生産指数（季節調整値：2022年1月）は、3ヵ月連続で前月を上回った（前月比+0.6%）ものの、増加幅は縮小した。主な業種の指数をみると、電子部品・デバイスなどが上昇した一方、輸送機械、生産用機械、はん用機械は低下した。

四半期の動きをみると、2021/10～12月は2期振りに前期を下回った（2021/4～6月：前期比△0.6%、7～9月：同+7.9%、10～12月：同△2.1%）。

4. 雇用・所得動向

雇用・所得環境は、改善の動きがみられる。

有効求人倍率（季節調整値：2022年2月）は、1.37倍と3ヵ月連続で前月を上回った（2022年1月：1.32倍）。

雇用者所得（県内合計値：2022年1月）は、常用雇用指数（前年比+0.7%）、名目賃金指数（同+5.9%）とも前年を上回ったことから、2ヵ月連続で前年を上回った（同+6.7%）。

5. 物価

消費者物価指数（除く生鮮食品：2022年2月）は、引き続き前年を上回った（前年比+0.5%）。内訳をみると、光熱・水道が上昇し、交通・通信、被服及び履物が下落した。

6. 企業倒産

企業倒産（2022年3月）は、4件、225百万円となった（前年同月：4件、183百万円）。

7. 金融面の動向

県内民間金融機関の預金・貸出（2022年2月）については、預金、貸出とも前年を上回った。貸出約定平均金利（2022年2月）は前月に比べて低下した。

以 上

